

【目次】

□学期末に向け「目配り」「気配り」「心配り」を！

□出水期の備えについて

●学期末に向け「目配り」「気配り」「心配り」を！

1学期も残すところ1ヶ月足らずとなりました。児童生徒の様子はどうでしょうか。大きく環境が変化した中学、高校の1年生は特に注意が必要です。学期末に向けてアンケートや個人面談等を行い、悩みや問題を抱えていないか把握したいものです。気になる児童生徒については、教育相談コーディネーターの先生を中心に情報を共有し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフを交えて対応しましょう。

「目配り」「気配り」「心配り」に努め、夏休み中の重大事態（自死など）や問題行動の未然防止につなげていきましょう。

●出水期の備えについて(出水期・・・集中豪雨(梅雨)、台風等洪水が起きやすい時期)

例年よりかなり早い梅雨入りから1ヶ月以上が過ぎました。大分県の傾向として、梅雨の初めよりも後半の7月上旬から中旬に大雨が降るケースが多いため、気象情報を注意して見ていく必要があります。

大雨の災害に備えるには

- ①自分がいる場所の地形から災害のリスクを知っておく（低平地や河川の合流点付近は浸水リスク、傾斜地は土砂災害のリスク等）
- ②最新の気象情報や避難情報を収集して今後起きることを予想する
- ③安全に避難できるタイミングや方法を考えて、その時が来たら直ちに実行できるなどのスキルを身につける
- ④自分がいる場所が安全であればその場にとどまり、危険であれば安全な場所に避難することを決める
こうしたことが必要です。

警戒レベルに応じた災害対応ができるように、日頃から地形図やハザードマップを調べたり、物資を備蓄したり、避難に当たって必要な準備や行動を時系列で整理した「タイムライン」を作成するなどの備えをお願いします。

◎メルマガに対するご意見や取り上げてほしいテーマは以下から投稿してください。

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/vdk9zKeA>

配信元：大分県教育庁学校安全・安心支援課（URL：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/31450/>）